

肝炎ウイルス・エキノコックス症 検診のお知らせ！

市では、次のとおり肝炎ウイルス及びエキノコックス症の検診を実施します。

万が一の場合の早期発見・早期治療を行うためにも、ぜひ受診しましょう！

■と き 11月24日(木)、同25日(金)、同30日(水)

■ところ 歌志内市立病院

■受け付け

①10時30分～11時30分

②14時30分～15時30分

③17時～18時 ※11月30日(水)のみ

■検診内容 肝炎ウイルス検診・エキノコックス症検診

※両検診ともに血液検査を行います。

■対象者

▶肝炎ウイルス検診：昭和47年3月31日以前に生まれた市民で、肝炎ウイルス検診を受けたことがない方

▶エキノコックス症検診：小学3年生以上の市民で、5年以上エキノコックス症検診を受けていない方

■料 金

	肝炎ウイルス 検診	エキノコックス 症検診
一 般	800円	無 料
市 民 税 非 課 税 世 帯	200円	
ク ー ポ ン 券 利 用 者 ※	無 料	

※クーポン券は、過去に市の肝炎ウイルス検診を受けたことがなく、下表の年齢の方を対象に7月に郵送しています。なお、クーポン券が届いていない場合は、保健予防グループまでご連絡ください。

クーポン券の対象年齢（生年月日）	
40歳	（昭和45年4月2日～昭和46年4月1日）
45歳	（昭和40年4月2日～昭和41年4月1日）
50歳	（昭和35年4月2日～昭和36年4月1日）
55歳	（昭和30年4月2日～昭和31年4月1日）
60歳	（昭和25年4月2日～昭和26年4月1日）
65歳	（昭和20年4月2日～昭和21年4月1日）
70歳	（昭和15年4月2日～昭和16年4月1日）

■申し込み 11月17日(木)までに、保健予防グループ（市役所2階☎42～3213）へ。



肝炎とは・・・

肝臓の病気といえばお酒の飲み過ぎを思い浮かべる人が多いと思いますが、実は日本人の肝臓病の約8割はウイルスによる肝炎です。日本ではC型肝炎に約200万人、B型肝炎に約150万人感染していると推定され、感染していても多くは自覚症状がありませんが、しだいに肝硬変や肝がんへ進行してしまう人もいます。

今日では医療技術や知識の進歩から、新たに感染する人は少なくなりましたが、現在40歳以上の人は、過去の気づかぬうちに感染している恐れがあります。

40歳以上で肝炎ウイルス検査を受けたことがない場合は、ぜひこの機会に受診しましょう。

■肝炎の感染経路・特徴

	B 型 肝 炎	C 型 肝 炎
感 染 経 路	ウイルスに汚染された血液やだ液、体液などの分泌物を介して感染する。	B型肝炎と同様、体液などを介して感染するが、感染力は低く、性交渉での感染や母子感染はまれである。
特 徴	主な症状は全身のだるさや吐き気、黄疸など。症状に気づかないこともある。普通は一過性で治るが、母子感染の場合は慢性化しやすい傾向にある。	主な症状はB型肝炎とほぼ同じだが、感染者の約70%が慢性化。その一部はさらに肝硬変、肝がんと症状が進む。

エキノコックス症とは・・・

エキノコックス症は、早期に発見し治療を開始すれば完治しますが、自覚症状が出るまでには数年から数十年かかることから、気づいたときには病気が進行していることが多く、放っておくと命に関わることもある病気です。

実際に感染した人の中には、キツネなどに接触したこともなく、感染するような覚えはなかったという人もいますので、どなたでも安心はできません。5年に一度は検査を受けましょう。

冬の交通事故を防ごう

11月16日〜同25日 冬の交通安全運動

ストップ・ザ・交通事故死

めざせ 安全で安心な 北海道

冬道は路面状態が急激に変化し、スリップなどによる交通事故が多発します。気象状況にじゅうぶん注意し、運転技術を過信せず、慎重な運転をしましょう。

赤歌警察署・交通事故死
ゼロ作戦本部・歌志内市



《運動の重点》

- 高齢者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 凍結路面等のスリップ事故の防止
- 交差点の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 運転者の皆さんへ

- 冬期は路面状況が変化することを認識し、スピードを控えた運転をしましょう。
- 交差点やその付近は事故多発地帯であることを認識し、特に注意して運転をしましょう。
- 高齢者を見かけたら、徐行

するなど思いやりのある運転をしましょう。

○夕暮れ時から夜間には、歩行者などの発見がしにくくなるので、交差点では徐行し、しっかりと安全確認をしましょう。

■家庭では

- 冬道の危険性や特徴を話し合うとともに、早めに冬タイヤに交換しましょう。
- 夜間外出するときには、明るい服装と夜光反射材を着用しましょう。
- 交差点などにおける安全な歩行について、家族みんなで話し合いましょう。

赤歌警察署からのお知らせ

ご存知ですか？

警察署協議会制度

警察署協議会は、各警察署長が警察署の業務運営に地域の意見を反映させるため、地域住民等の代表者から、広く意見・要望等を聞くための機関です。

赤歌警察署管内には、歌志内市及び赤平市から6名の方



写真前列左から、相河祐子委員、河西広美委員、澤田季孝副会長、宮川徹会長、長谷川伸布子委員、町田秀一委員

が北海道公安委員会より2年間の委嘱を受け、委員として活躍されています。

また、協議会の会議概要などを赤歌警察署のホームページ (<http://www.akautas-yo.police.pref.hokkaido.lg.jp/>) において、配信していますので、ご覧ください。

勇気を出して

すぐダイヤルを！

警察では、事件や事故の被害に遭った方、家庭内暴力、ストーカー、お子さんのいじめ問題で悩んでいる方などの相談を次の電話で受け付けています。

また、事件や事故による心の傷が癒やされず、悩んでいる方のために、民間被害者相談窓口のプロのカウンセラーがあなたのお話しをお聞きします。

事件や事故でお悩みのあなた、勇気を出して今すぐダイヤルを！

■警察相談電話

- ▽被害者相談
- ☎ 0120-0756-310
- ▽性犯罪被害110番
- ☎ 0120-677-110
- ▽少年相談110番
- ☎ 0120-677-110
- ▽暴力相談電話
- ☎ 011-222-0200
- ▽一般相談
- ▽警察本部 (専用電話)
- ☎ #9110

■民間被害者相談電話

- ▽北海道被害者相談室
- ☎ 011-232-8740
- ▽日本司法支援センター
- ▽トラブル解決関係
- ☎ 0570-078374
- ▽犯罪被害関係
- ☎ 0570-079714

